

日本初バイオマスマーク取得の人工大理石「バイオサーフェス®」を開発

三菱レイヨン株式会社(本社:東京都千代田区、社長:越智 仁)と、デュポン株式会社との合弁会社であるMRC・デュポン株式会社(本社:東京都港区南青山一丁目15-9、代表取締役社長:井前史生、以下「MRC・デュポン社」)は、植物由来の原料を使った新しい人工大理石「バイオサーフェス®」を開発しました。初回製品として2013年6月1日より2種類の洗面ボウルを販売開始します。

バイオサーフェス®は、社団法人日本有機資源協会認定の「バイオマスマーク」を人工大理石の分野で初めて取得しました。生物由来の資源であるバイオマスを活用し、品質及び安全性も良好であることを認定するこのマークは、化石資源への依存を低減し、循環型社会の構築を目指す国家戦略「バイオマス・ニッポン総合戦略」の中から誕生したものです。2013年2月現在、国内256商品が取得しています。取得することにより京都議定書の二酸化炭素削減量にも計上されることが正式に認定されます。

今回発売するバイオサーフェス®は、材料の一部にデュポン社が販売している飼料用トウモロコシから醗酵プロセスで抽出した デュポン™Susterra®プロパンジオールを配合したバイオベース樹脂を使用します。美しい艶出しの表面を持ち、各種物性強度もメタクリル系人工大理石であるデュポン™コーリアン®のそれと同等の物性を持ちます。またバイオサーフェス®は、一般的に広く採用されている成型設備での成型が可能のため、今後の販売形態は成型品以外にも、BMC(バルクモールドコンパウンド:団子状の原料を金型で成型する方法)、SMC(シートモールディングコンパウンド:シート状にした原料を金型に敷く様にして成型する方法)など、幅広い分野での販売を目指しています。

初回製品として発売を予定している洗面ボウルは2型(品番:1810、ボウル内寸法:418x331x134mm、品番:1815、ボウル内寸法:519x366x156mm)で、MRC・デュポン社が販売しているデュポン™コーリアン®洗面ボウルで人気の高い製品と同サイズです。様々な用途で使いやすい仕様となっています。色はグレイシアホワイトです。

建築業界にはまだまだ馴染みが少ないバイオ建材ですが、人工大理石のパイオニアであるMRC・デュポン社が業界に提案することで、業界のエコ意識がより一層高まればと期待します。またMRC・デュポン社は、環境に配慮したオフィスやお店の洗面や手洗い、それに官公庁が率先して行うエコを取り入れた公共事業などといった分野での販売を促進していく方針です。すでに数社から引き合いがあり、順調な滑り出しを見込んでいます。

### 【MRC・デュポン株式会社 概要】

MRC・デュポン株式会社は、1986年にデュポン株式会社と三菱レイヨン株式会社の合弁会社として誕生しました。人工大理石デュポン™コーリアン®の日本における製造・販売会社であると同時に同製品の総輸入販売元でもあります。また、今回新たにバイオ原料由来の人工大理石バイオサーフェス®を独自に開発、2013年6月1日より販売を開始します。

◆会社 URL: <http://www.dupont-corian.net/>

※バイオサーフェス®は、MRC・デュポン社の登録商標です。

※デュポン™コーリアン®は、デュポン社の登録商標です。

※デュポン™Susterra®はデュポン・テート・アンド・ライル・バイオプロダクツ社の登録商標です。

### 【バイオサーフェス®ボウル写真】



本件に関するお問い合わせ先

MRC・デュポン株式会社

担当:品川 電話:03-5410-8551(代表)